

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774(代)
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
年額8,800円(税込送料込)

TOTO



NEW
システムバスルーム
シンラ

詳細は
ホームページを
ご覧ください。



更新・耐震化促進を

全管連水道議連・懇話会に要望

全国管工事業者協同組合(藤川幸造会長)は自民党の水道事業促進議員連盟(田村憲久会長)と公明党の上水道・簡易水道整備促進議員懇話会(大口義徳会長)に能登半島地震被害を踏まえた予算・体制確保・業界振興策の充実に関する要望書を提出した。老朽管の更新・耐震化の促進をはじめ大規模災害時における法制度の整備や悪質業者対策の強化などを求めた。命の水を守るという社会的使命を果たし、管工事業界のさらなるイメージアップをめざす。

命の水を守る使命果たす

元日に発生した能登半島地震では水道事業体の一要件に於いて全国から全



田村会長に要望書を手渡す藤川会長



中央に大口会長と藤川会長

管連傘下の177団体が被災地に駆けつけた。1月から5月まで延べ作業日数約2500日・約1万6千名が能登地方を中心に組織的な心労復旧活動を展開。長期化した断水の影響などによって改めて上下水道インフラの老朽化の進行や耐震化の遅れが顕在化し、地震や激化・頻発化する風水害への備えの必要性が認識された。

その一方で水道事業体の職員や全管連所属企業は年々減少傾向で推移しており、災害時の応急復旧応援体制がこのまま維持できるか強く懸念されている。会員企業が地域の安全・安心の守り手として社会的使命を果たすには経営基盤の強化・安定化が不可欠だ。とくに安定的・持続的な事業量の確保と企業としての適正利潤の確保が急務の課題となっている。これに伴い管工事業界への若年者の入植促進と技術・技能の継承を図るため、業界のイメージアップに加えて週休2日制の確保など働き方改革の推進が求められている。

こうした現状を見据え、全管連の藤川会長と粕谷明博専務理事は9月6日、衆議院第一議員会館で開かれた自民党水道議連の第23回総会に出席し、令和7年度予算編成に際して当面の重点課題に関する要望を行った。また5日に衆議院第一議員会館で公明党懇話会の大口会長に要望書を手渡した。

これを受けて田村会長や大口会長らは能登半島地震における心労復旧活動に感謝の意を表明するとともに、要望項目が来年度予算に反映されるよう全力で努めていく意向を示した。

地下水活用へガイドライン

有識者会議 大規模災害時の代替水源に



齋藤事務局長

内閣官房水循環政策本部事務局は東京・霞が関の中央合同庁舎3号館会議室で第1回「災害時における地下水等活用推進に向けた有識者会議」(座長・遠藤崇浩大阪公立大学現代システム科学域教授)を開き、災害時の地下水等活用ガイドラ

イン(仮称)の策定に向けた検討を開始した。能登半島地震の教訓を踏まえ、大規模災害時の代替水源として地下水の活用を促進していく。

能登半島地震の一部被災地では地域住民が自発的に井戸水や湧水を生活用水として活用し、緊急時の代替水源となることが改めて確認された。また地下水の利用を地域防災計画に盛り込む事例も増えている。このため学者・研究者による有識



初会合で活発に意見交換

者会議を新たに設け、地下水を積極的に活用するガイドラインを作成することにした。

初会合では齋藤事務局長が冒頭あいさつに立ち「能登半島地震では断水が長期化し、緊急時の水の確保という問題が浮き彫りになった。半島・離島などは数多くあり、全国に共通する課題といえる。新たな水循環基本計画では地下水を重視しており、ガイドラインをまとめて自治体支援の一助としていきたい」

と述べ、積極的な意見交換を促した。

続いて遠藤座長が「災害時の地下水利用への関心が高まっており、ガイドライン策定の好機だ」と強調した。

議事では緊急水源としての地下水活用事例などを紹介するとともに、ガイドラインのイメージとして分かりやすさ・見やすさに留意することなどを確認した。

「最速の施工」動画



「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

NICHIEI INTEC

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊X

お問合せ: 日栄インテック株式会社

日栄インテック 検索

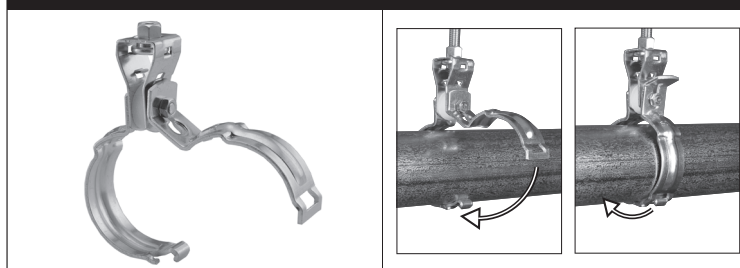
省施工
省人化



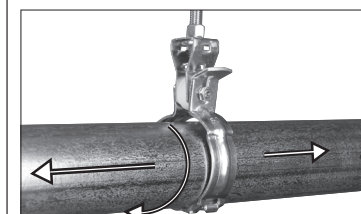
GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

GOOD DESIGN 賞でも大きな評価を得られた、従来品と「らく吊X」の施工時間の比較動画をぜひご覧ください。

ナットを外さなくても取付けできます
パイプの支え作業ゼロ



パイプの可動が容易



ナットの締め忘れ防止
目視確認が可能

